

せきれいのみち意見交換会記録 第一部質疑応答

【せきれいのみち再整備計画（素案）に関する質疑応答】

- ・ 車止めを馬型のタイプに統一することだが、自転車にとって良い点、車いすにとって良い点を各々教えてほしい。

回答→現状の車止めにはいろいろなタイプが設置してあり、やや使いづらいという意見もいただいています。馬型のものでも、密に設置すると通れないこともあるため、バリアフリーの基準である 90 cm 以上の間隔で設置する計画で、車いすの方でも回って出入りできるようにします。一方、自転車にとっては、間隔が広いと乗ったままスピードを落とさず通過してしまう可能性がありますので、馬型車止めを交互にするなど配置を工夫し、間隔は 90 cm を一つの目安とすることで、一旦スピードダウンし、必要に応じて降りていただくといった利点があると思います。

- ・ 緑道の斜度は、バリアフリーの視点で法律的にどのくらいまで許容されているのか？

回答→縦断勾配であれば標準的には 1/20（5%）以下となっております。

- ・ 勾配は、道路と同じ基準なのか？緑道は公園であるが同じように、適応されるのか？

また、現状ある V 型の横断溝を、蓋がけし平らにするとの説明があったが、どのくらいの勾配なら許容できるのか？

回答→公園でも基準を適合させなければならない所と必ずしも適合させなくてよいところがありますが、基本的には基準に近づけるように整備します。ただし、公園の形状によってはすべて 5% 以下にすることは不可能な場合もあります。その場合、特例としてももう少しきつい 1/12（8%）以下まで許容されています。更に山の公園など、地形的にどうしても不可能なところは、基準がかからないようになっています。また、（V 型横断溝の）段差についてですが、園路は基本的に平坦であることとされており、V 型横断溝は車いすの方が自力で通ることが困難な箇所ですので、解消すべき段差と考えています。

- ・ 緑道が整備された二十数年前と比べて法的にもいろいろな規制が変わってきた。今回の再整備にあわせてバリアフリーを実現しようとすることは大変良いことだと思うが、一方で、あまり便利になってしまうと自転車の問題が出てきてしまうので、更に話し合いが必要だと思う。

回答→ご意見ありがとうございます。

- 園名石の文字を見やすくするとの説明があったが、色をどうするか公募したらどうか？
回答→現状では一部で、黄色や白に着色しているところがありますが、見やすさなどを考慮して決め方を含め内部で検討していきたいと思います。
- ベンチを増やしてほしい。例えばせせらぎ公園では既存のベンチに加え、3箇所くらい増やしてほしい。
回答→今回の再整備の中でせきれいのみちにベンチを設置していこうと思っており、また途中の公園にも再整備とは別に改修などの際、必要に応じて増やしていきたいと考えています。
- 自転車も相当進化しておりかなりスピードが出ている。連合町内会にも、お年寄りがぶつけられて、そのまま逃げてしまうケースが3~4件報告されたことがあり、全面的に自転車が通れないようにした方がよいと思う。しかし、せきれいのみちは自転車推奨ルートに設定されているので、自転車の対策について皆で考えていきたいと思う。
回答→ご意見ありがとうございました。

せきれいのみち意見交換会議事要旨 第二部グループ討議

【共通】

- ・ 緑道はそれぞれの地域で性格が違うので、その地域にあった整備が必要であるが、都筑の緑道として統一的なコンセプトも必要と考える。
- ・ 早淵公園の方からは明るく、春雨橋を渡ると急にしんみりとした空間になって、仲町台駅の裏に来ると生活の道路として、更に茅ヶ崎公園から下の方に行くと開発される前の都筑の里山風景が残されている。それぞれの状況に応じて再整備をしてもらいたい。
- ・ 基準等もあるが、例えば奈良の山辺の道などは脈々と維持されているので、二十二世紀の都筑の緑道として、全国に知れ渡るぐらいになって欲しい。
- ・ 意見交換会に先立ち行った現地視察会はとても良い会だった。実施設計時においても意見交換会や現地視察会を行ってもらいたい。
- ・ 緑道とは緑の道。自然を大切にするのか、道を大切にするのか。自転車の人は道として考えるし、公園愛護会の人は緑を大切に思う。緑と道がせめぎ合うところだと思う。
- ・ 緑道と生活道路という観点で視察会には参加した。
- ・ 緑道のそばに住んでいるが、通学路として子どもたちが元気に明るく通っている姿をみるたびに、良いところに住んでいると思う。
- ・ ずっと歩いてみて、こんなに素晴らしいところはないだろうと思う。
- ・ この先、実施設計がある程度出来上がった時に、もう一度意見交換会を行って最適な意見を反映していくことが大事ではないか。
- ・ ホームページでの意見募集は基本設計の段階では良いと思うが、実施設計では具体的な話が出てくるので、その解決策についてももう一度意見ができるような機会を設けてほしい。
- ・ 緑道は公園と公園をつなぐ緑の道である一方で自転車の通り道でもある。地域と土木事務所で協力して議論を重ねてほしい。そういう意味でも実施設計の段階でこういう会議をしてほしい。

【舗装】

- ・ 雨の日にすべりやすいところがある。
- ・ 路面がガタガタしていると、ベビーカーの人が押しづらく、園路からはみ出しそうになったり、ベビーカー同士でぶつかりそうになったりするのを見たことがある。
- ・ 高齢化社会になり、ちょっとした段差でもよろめいてしまう。
- ・ 白河石の舗装は素晴らしいので、是非残してもらいたい。

- ・ 白河石の目地が抜けているところは歩くときやベビーカーなどに支障があるのできちんと整備してほしい。

【樹木】

- ・ 巨木化、過密化して暗く、隣接の住宅では昼間でも電気をつけなければならない状況になっている。
- ・ 木が多すぎて、剪定が間に合っていない。半分ぐらいにしてもいいと思う。
- ・ 強剪定をやりすぎ（早濶2丁目付近のこと）。みっともない。センスがない。
- ・ 緑陰が欲しい一方で落ち葉の問題もあり難しい。
- ・ 判断によって、強剪定は必要だと思う。今は見栄えが悪いが、将来を見据えた時に強剪定をやっておかないと大変なことになると思う。
- ・ 強剪定は全部やるから丸坊主になってしまうのであって、剪定するものを選定すればよいと思う。
- ・ 強剪定はせざるを得ないとは思いますが、併せて間伐をおこなってほしい。強剪定だけではうまくいかない。
- ・ 早濶3丁目の自転車歩行者専用道路のケヤキの剪定は良くできているので、手本としてほしい。
- ・ 邪魔だから木を切るのではなく、かえって趣があり、残してほしい。
- ・ 樹木に高さの規定はないのか。何mになったら切るとか。あまり高すぎると全部日陰になってしまう。
- ・ 強剪定するとき一緒に間伐は考えなかったのか。樹冠が重なっていたと思うが。
- ・ 強剪定がずらっと並んでいると堀みたいに見える。あの時一緒に間伐をしても良かったと思う。
- ・ 今回はとても大きな改修になるので間伐を考えてもらいたい。日陰になれば草が生えずに土が流れ、側溝に溜まる。みんなつながっている。
- ・ 下草を生やせば鳥、蝶類、昆虫などにとっても良いと思う。
- ・ 30年前に植えた木が現在の状態になっている。したがってこれからやろうとすることは、30年後を見据えてやってほしい。中途半端なことはしないでほしい。
- ・ 樹木の数は半分ぐらいでもよいのではないか。そのままにするとますます増えてしまう。
- ・ 強剪定をしたのは植木屋さんですか。センスが悪いのでは。
- ・ 強剪定のやり方を指示した人（土木事務所）がいるでしょう。
- ・ 見通しが悪いところは確かにあるので、少し伐採してスッキリすればよいのではないかと思う。

- ・ 緑が多いということは落ち葉が多いということ。歩行者が滑らないように町内会では気を配って清掃活動を行っている。

【照明】

- ・ 照明の暗さが気になる。犯罪のおそれがある。
- ・ 照明は片側にずっと並んでいるが、両側につけてはどうか。
- ・ 中学生が遅く帰るときなど暗くて心配。
- ・ 緑道は公園なのであまりピカピカなのはどうか。
- ・ だいぶ暗いところがあり、女性は怖いと思う。あまり明るすぎてもまずいと思うが、もう少し明るくしてほしい。
- ・ 木をもう少し切って明るくしてほしい。

【排水】

- ・ 早渕中学校の角に雨水ますがあるが、葉っぱや泥が溜まり、この清掃は町内会が片づけるのか、土木事務所がやってくれるのか。

【流れ（せせらぎ）】

- ・ 防水シートのはがれたところは、ザリガニ取りなどで石をはがしてしまうことが原因と聞いたが、子どもたちはザリガニ取りを楽しみにしているので、壊れないような作り方ができないものか。
- ・ せせらぎというネーミングがとてもよい。水生動植物が住むようなせせらぎにしてほしい。
- ・ （防水シートが老朽化して）水が裏側に回ってしまっている。一部水と土が溜まっていてドクダミなどが生えている。溜まった水をなんとかしてもらいたい。

【バリアフリー】

- ・ 春雨橋のたもとの所に、先端に突起のある低いフェンスがあり危ないので改修してもらいたい。
- ・ 数段の小さい階段があるが、ここにも手すりをつけてほしい。スロープが欲しいが、なかなか大変だと思うので、せめて手すりだけでもお願いしたい。
- ・ ベンチを設置するとあるが、木の素材だと見た目が汚くなってしまう。プラスチック製などにできないか。

【自転車と歩行者の安全】

- 自転車のスピードが気になる。怖い。個々のマナー、モラルの問題。
- ベビーカー（特に二人乗りの幅広のもの）や保育園のワゴンなどが通っていると、道幅が狭くなり、そのすき間を自転車がすり抜けていくのが危ない。自転車は押して歩くのを徹底した方がよいのでは。
- 夕方、夜間にライトをつけずに走行している。
- 特にお母さん方が無茶な運転するようだ。
- 園路を幅広くすればするほど、自転車が多くなり、二重走行する人が出てくるのではないか。
- 押し歩きの指導を2年前くらいに一回行っただけではなかったか。計画的にやって欲しい。やりっぱなしだと「また区役所は無駄なことをやっているのではないか」と言われてしまう。町内会自治会の回覧などでアピールしてほしい。
- 自転車と歩行者の問題は基本的にすべてマナーの問題だと思う。押し歩きというのが一番安全だと思う。
- ひどい場合、バイクが走っていることもある。
- 自転車の問題は国の方針が変わり、自転車は車道が原則ということになった。したがってこれが徹底していけば解決していく方向にあると思う。
- 緑道は公園の一部であることをもっとアピールしていきたい。
- 自転車に優しい緑道になって欲しくない。道幅を拡げたり、舗装を良くすると自転車が走りやすくなってしまう。ただしバリアフリーの観点からするとこれは良いこと。
- 見通しを良くしたらかえって自転車が増えるのでは。見通し悪くて結構。どんどん悪くしてほしい。逆説的だが、悪くした方が自転車が走りにくい。
- 舗装を砂利にして走りにくくしたところがあったが、マウンテンバイクのような自転車が逆に喜んで走っている。
- お母さん方にマナーを守らない人が多いと思う。学校を活用したらどうか。
- 実証実験をやっていた箇所の路面標示は意味があるかどうか。完全にグリーンや青のレーンを引いてみるのはどうか。
- 子供とかが自転車でスピードを出していることがあるが、逆に子供にとって安全な道ではあるので、なんとか共存できないかと思う。
- 道幅を拡げるといった場合、道が狭くなったり視界が悪くなったりで樹木が邪魔になる場合があるが、樹木の側からみれば、この問題を両立するのは難しい。
- 個人的には自転車で緑道を走ってみたい。現時点では無理だが、歩車分離のような整備をしてほしい。

- ・ 朝など忙しい時間に、お母さん方が前後に子どもを乗せて走っている。禁止なのか通って良いのか徹底した方がよいのでは。
- ・ 若い人など、かなりのスピードで乗っている。決まりでは乗っていけないことになっているが現実とのジレンマがあり連合町内会でも問題となっている。
- ・ 自転車の走るところをきちんとブルーの色分けをしてわかりやすくしてほしい。
- ・ 緑道は公園であるから道路交通法は適用されないのか。
- ・ 自転車の問題は緑道だけでは解決できず、その周辺の道路含めて考えないと難しいと思う。なぜ緑道を使うかという、道路が袋小路になっていたり、渡れるところが少なかったりして緑道を通ってしまう。
- ・ 基本はあくまで通さないように設計して、あとは地域との話し合いで、ケースバイケースで決めていったらよいのではないか。

【安全・防犯】

- ・ 樹木が鬱蒼としていると暗くて防犯面から考えると夜危ないので、防犯カメラを設置したらどうか。
- ・ 町内会で夜間パトロールをするときに、暗いところがあって危ないと感じる。
- ・ 先日、市内のある小学校の通学路で軽トラックが突っ込む悲惨な事故があったが、この緑道があるおかげで子どもたちは安全に通学ができています。安全面で非常に感謝している。
- ・ 照明が暗く、痴漢にあった話も数件聞いている。

【その他】

- ・ マラソンをしている人が多いが、今のところ走っている人のマナーは良いと思う。ただ将来的には自転車の問題と同じことが起きるかもしれない。
- ・ 犬の散歩のマナーがよくない。
- ・ 草が覆っているところはポイ捨ての多い箇所なので、雑草が生えにくいような整備をしてほしい。
- ・ 犬の散歩の人が公園灯にオシッコをさせていて、これが原因で根元が錆びたりしている。水をかけている人もいるが、マナーが良くない。
- ・ 緊急時に場所が分かるよう緑道内に、なにか目印になるようなものが欲しい。